

# CI-NET導入事例

## (地域総合建設業 北陸)

一般財団法人建設業振興基金  
情報化評議会

平成25年8月

## 本事例の特徴

■1 手軽なASPサービス  
利用により低コストで導入

■2 本社建築部門の  
注文業務よりスムーズに  
スモールスタート

■3 4年後に見積から請求  
への拡張を目指しつつ、  
段階的に導入

■4 社内システムとの  
自動連携による効率化

■5 地域の複数総合建設  
業による合同検討・導入

## 1. 2. 会社プロフィール

### ■会社の規模

- ◆資本金 : 10億円
- ◆従業員数 : 550名
- ◆完工高 : 420億円

### ■業務の規模

	全体	EDI化対象数	EDI化率
取引先数	2,400社	14社	0.6%
注文件数 (年間)	7,300件(外注) (2013年6月末時点)	470件	6.4%
請求書件数 (年間)	9,600件(外注)	—	—

## 3. 対象業務範囲

### ■対象範囲(分野、地域、区分)

	対象範囲		
分野	建築	土木	
地域	本店	支店	グループ会社
区分 ※1	労務	資材	外注

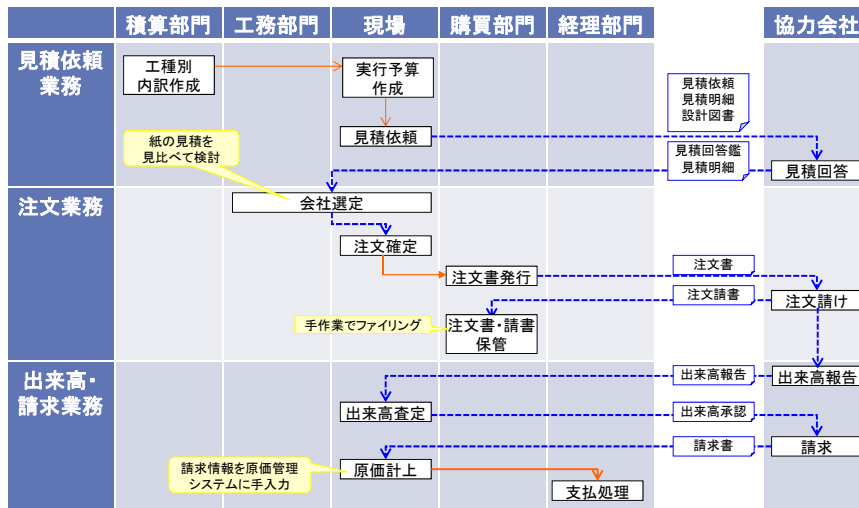
※1: 協力会社は、CI-NET既導入会社、取引の多い会社、関連会社より各工事区分の計14社を選定。

### ■対象範囲(業務)

連絡業務(EDIメッセージ)	対象範囲
下見積(依頼・回答)	×
購買見積(依頼・回答)	△: 拡張予定
注文(注文・注文請け)	○
出来高(確認・承認)	△: 拡張予定
請求(請求・確認)	△: 拡張予定
立替金	×

## 4. 業務プロセス(導入前)

→ : 電子の流れ  
 - - - : 紙の流れ

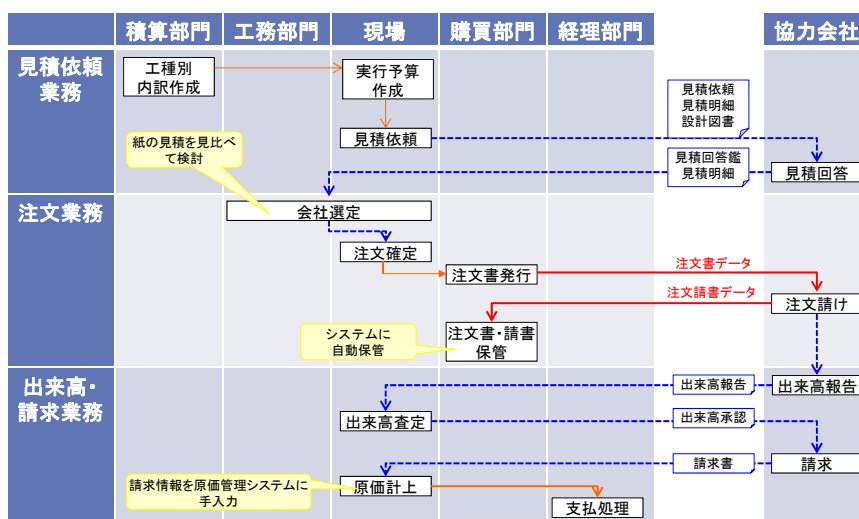


Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

4

## 4. 業務プロセス(導入後)

→ : 電子の流れ  
 - - - : 紙の流れ



Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

5

## 5. システム概要①

### ■EDIシステム

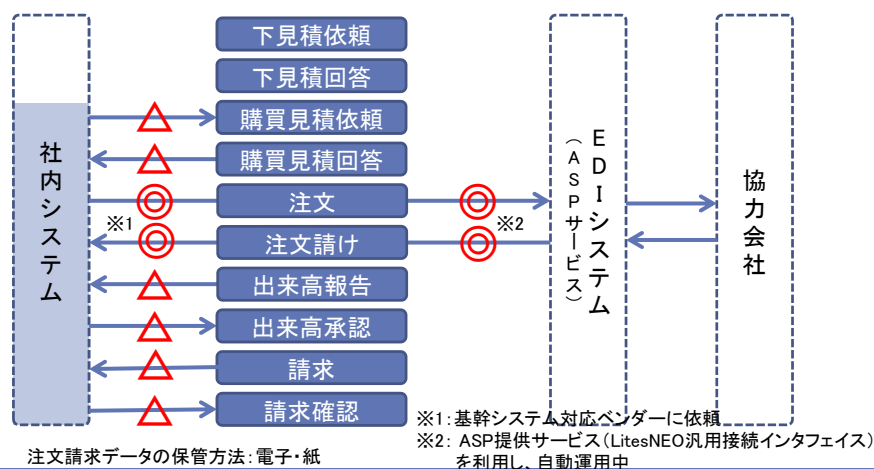
- ◆構成パターン : ASP活用タイプ I (連携利用)
- ◆利用サービス、ソフトウェア : LitesNEO (NECソフト社製)

### ■社内システム

- ◆数量積算 : 市販ソフト
- ◆実行予算 : 自社開発(外注)
- ◆原価管理 : 市販建設業向けパッケージ利用
- ◆注文・購買 : 市販建設業向けパッケージ利用
- ◆工事管理 : 市販建設業向けパッケージ利用
- ◆経理・会計 : 市販会計パッケージ利用
- ◆その他 : 市販人給パッケージ利用

## 5. システム概要②

### ■社内システムとEDIシステムの連携方法・ベンダー依頼

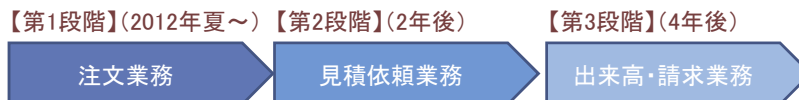


## 6. 導入・拡大検討の動機、きっかけ、導入に至った経緯等

- 導入検討の動機 : 効率化、費用削減、データ活用、  
地域建設業界の発展に寄与したい
- 導入検討のきっかけ : (1)費用と効果が定量的に把握できた  
(2)複数の総合建設会社と合同で開始できることが分かった  
(3)国土交通省の推進活動も経営者への意識付けに影響した
- 社内上申書の概要
  - ◆CI-NETの概要
  - ◆背景、目的、目標
  - ◆導入費用
  - ◆導入効果
- 導入時の工夫 : コストを抑えるためにASPを活用。まずは体感することと慣れることを念頭に、限定された部門での業務(注文)で協力会の中から既存・新規を交えた多業種の協力会社を限定してスモールスタートした。  
同クラスで複数の総合建設会社による合同検討・導入。協力会社も複数の総合建設会社と取引があるので、連携・協力することにより、効率的に進めることができると考えた。

## 7. 進め方(導入フェーズ)①

### ■導入ステップ



### ■導入状況

- ◆複数の総合建設会社による合同説明会を実施  
(当社では14社に参加依頼)
  - 新規導入会社4社、導入済み会社10社

※説明会前に合同でアンケートを実施したが、すでにCI-NET利用している会社が約4割であった

## 7. 進め方(導入フェーズ)②

### ■実施体制

- ◆社内システム部門(本社):2名

### ■導入スケジュール

	~2011	2012 第1四半期	2012 第2四半期	2012 第3四半期	2012 第4四半期
社内導入検討 (着手~社内承認)	4ヵ年 →				
設計		6ヵ月 →			
プログラム開発		→			
テスト、試験運用			→		
説明会開催			2日間(計4回) →		
本運用開始				→	

Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

10

## 7. 進め方(運用フェーズ)③

### ■サポート体制(ヘルプデスクの設置有無)

- ◆2名(社内システム部門:1名、その他部門:1名)

### ■教育・研修等

- ◆説明会開催(導入時のみ)

- 体制…総合建設会社3社合同開催、ASP事業者支援
- 頻度…4回(新規導入会社向け:2回、既導入会社:2回)

#### ●内容

- CI-NETの概要説明
- CI-NET導入手続き
- 導入範囲、メリット、画面・操作イメージ

1日目:新規業者、既実施業者  
2日目:新規業者、既実施業者

- 対象者…協力会社:新規導入会社:29社、既導入会社:16社の計45社71名

Copyright © 1997.6-.CI-NET All rights reserved.

11

## 8. 導入・運用コスト

	初年度	2年目	3年目	4年目以降
社内システム改修費	購買管理システム機能追加費用: 1,300,000円 (契約に係る機能追加のみ)			
企業コードの取得	33,600円(税込)	0円	0円	以降、3年ごとに 42,000円(税込)
電子証明書	6,825円(税込)	0円	0円	以降、3年ごとに 6,825円(税込)
ASP登録料	初期登録料:30,000円 事業所登録料:20,000円	0円	0円	0円
ASP利用料	原本保管料:7,600円/月 (年間1,200件) WEBID使用料:3,000円/月 ヘルプデスク:2,000円/月 ※H25.2現在	同左	同左	同左 ※原本保管量等に関しては、保管量によって変動あり

### ■費用に関する工夫、留意点、課題等

#### ◆ASP利用の課題

- 社内の承認ルートとASPの承認ルートの仕様検討が必要
- 上記理由及びEDIデータと社内システムとの親和性を高めるため、将来的に社内構築も検討

## 9. 導入メリット(定量・定性効果)

	定量・定性効果
作業時間	● 注文・注文請け書類に係る処理時間削減 1,460時間/年(183人日/年) <導入による削減量> 注文書発行等:9分/件、請書受理:3分/件
印紙税	● 関連会社の注文請書の印紙代削減
郵送料 紙資源	● 注文・注文請け書類の発行・受領に係る費用削減 985,500円/年 <導入による削減量> 注文書発行:130円/件、請書受理:5円/件
その他	● 稼働後2~3年で損益分岐点を超え、投資回収見込み ● ファイリング不要・作業効率化向上(請書控受領までの時間が短縮された)

## 10. 問題点、課題等

### ■導入中または運用後の新たな問題点・課題、その対応策等

- ◆社内体制について
  - ・対象業務が拡大するとQ&A対応のためのヘルプデスクが必要と考えられる。専門の担当者を配置できないため検討が必要。
- ◆ASPサービス(コスト低減・活用範囲の拡大)
  - ・支店への拡大や現場での使用、および原本データの増量に対しID使用料や原本保管料等が低減されると拡大が容易になる。
- ◆活用のメリット増大
  - ・現在、企業コード取得企業が公開されているが、付加価値として取得企業の専門とする工事種別等様々な情報が得られると利便性が増すと考えられる。

### ■今後の計画

対象業務	● 見積業務から出来高・請求業務の導入を計画
対象地域	● 本店→支店、グループ会社への展開
対象会社	● 建築→土木への展開

## 会社紹介

会社概要	名称	株式会社本間組
	所在地	新潟市中央区西湊町通三ノ町3300番地3
	代表者	取締役社長 本間達郎
	創業	昭和9年10月1日
	設立	昭和21年3月1日
	資本金	10億円
	売上高	421億円(2012年度実績)
	従業員数	551名(2013年7月現在)
	許可・登録	特定建設業・一級建築士事務所・測量業・宅地建物取引業・建設コンサルタント業・第二種利用運送事業・土壤汚染対策法に基づく指定調査機関 ISO9001、ISO14001、OHSAS18001認証
事業所	本社	新潟本社・東京本社
	支店	東北・東京・名古屋・関西・中国・四国・九州・佐渡
	営業所	15営業所
グループ会社		14社





## 取引先専門工事業者の電子商取引(CI-NET)の現状把握

□取引先業者のCI-NET利用状況や知識について**現状を把握する**

- 4社合同でアンケート調査を実施
  - ・128社より回答(4社合同で実施)



□アンケートによってわかったこと

- 確定注文・注文請のやり取りにCI-NETを利用しているか？
  - ・利用している・・・42%
- 実施相手総合建設業者
  - ・大手(スーパー)4社・・・77%
- CI-NETを利用する予定があるか？(76社回答)
  - ・予定している・・・5%
  - ・現在未定・・・95%
- 現在未定の理由？(57社回答)
  - ・元請けからの要請・依頼がない・・・49%
  - ・仕組みが分からない・・・21%
  - ・必要を感じない・・・7%
  - ・システムが未対応・精通者がいない・・・6%
  - ・費用対効果が見えない・・・2%
  - ・その他・・・15%

## 今回の既存システムの改善把握と導入形式パターン

タイプ	特徴	費用
自社構築方式	1. 基幹システムと連携し一貫通貫した業務フローが組み立てられる 2. 基幹システムとCI-NET LiteSパッケージの連携でシステム開発が必要	大
ASP活用方式	タイプⅠ 1. 基幹システムと連携し一貫通貫した業務フローが組み立てられる 2. 基幹システムとの連携でシステム開発が必要 3. CSVデータでデータ連携等	中
	タイプⅡ 1. ASP事業者のツールを使用 2. パソコンがインターネットに接続できれば初期費用をかけず開始可能 3. 業務システムとの運用のすみわけが必要(2重入力)	小
業務ソフト活用	1. パソコンにパッケージソフトを組み込み簡易に開始可能 2. 操作性が良く簡易に開始可能 3. 導入・運用サポートあり	中

